

富士特別支援学校富士宮分校 令和5年度 第1回 学校運営協議会

1 学校運営協議会委員 (敬称略)

山元 薫 (やまもと かおる) 静岡大学准教授
遠藤 久仁子 (えんどう くにこ) 富士宮市社会福祉協議会事務局次長
杉浦 博 (すぎうら ひろし) 琴平区長
関澤 新一 (せきざわ しんいち) 株式会社 大一セラム 代表取締役
蓑 威頼 (みの たけより) 株式会社 アサギリ 代表取締役
三澤 恵 (みさわ めぐみ) 令和5年度PTA会長

【教職員】

滝尾 彰彦 (たきお あきひこ) 校長
川上 健治 (かわかみ けんじ) 教頭
山下 憲市 (やました けんいち) 高等部主事

2 次第

- (1) 開会 進行 (教頭) 9:00
(2) あいさつ (校長)
(3) 任命状交付 (校長)
(4) 自己紹介
(5) 学校運営協議会会長、副会長について (教頭) 9:20
(6) 令和5年度 学校経営計画について (教頭) 9:25
・学校経営計画の承認 10:00
休 憩
(7) 校内参観 (主事) 10:10
(8) 議事 司会: 会長 10:50
協議
・「地域とのつながり」～分校をさらに良くするために～
・「私たちのBook コネクトプロジェクトWBC」(学校図書館活性化事業)
(8) 閉会 (教頭) 11:50

3 学校運営協議会年間計画 (全3回)

	期日	内容
第1回	令和5年5月30日(火) 9:00~12:00	・学校運営協議会について ・令和5年度学校経営について
第2回	令和5年10月24日(火) 9:00~11:00	・地域資源の活用 ・前期学校評価から今後の課題
第3回	令和6年2月20日(火) 9:00~12:00	・令和5年度学校評価 ・学校関係者評価委員会 ・令和6年度学校経営について

1 校長あいさつ

- ・1年生は、学校生活になじみ、2、3年生は先輩としての自覚が芽生えてきた。
- ・地域とのつながりを大切にしていきたい、それぞれの立場からご助言をいただきたい。
- ・東分校との交流も進めていく。

2 任命状交付 ・各委員に校長より交付

3 自己紹介

PTA 会長（三澤恵様:高2）**新**

- ・分校の良さを発信していきたい。

琴平区長（杉浦博様）**2期目**

株式会社 アサギリ（蓑威頼様）**2期目**

- ・昨年度卒業生採用
- ・支援、環境、対応など勉強になった1年
- ・ユアライフ事業についての紹介

株式会社 大一セラム（関澤新一様）**2期目**

- ・OB2名採用、仕事順調
- ・みんな個性が違うので、一人一人に合わせて対応している。
- ・企業側も日々勉強して対応を考え成長している。
- ・もっとつながりを広げていきたい。

富士宮市社会福祉協議会（遠藤久仁子様）**2期目**

- ・共生共育を目指していきたい。

静岡大学（山元薫様）**2期目**

- ・先生方も入れ替わり、創生期を知らない先生方の組織となった。
- ・分校が、地域で、どういう要となるか、立場を考えていきたい。

4 会長、副会長の任命

- ・会長：山元先生 副会長：遠藤さん **承認**

5 学校経営計画（教頭）

- ・学校経営計画、学部目標、4～5月の教育活動、卒業生進路状況の説明（資料参考）
- ・質疑応答 三澤様より…レジリエンスとは何か？教頭より再度説明。

承認

※雨天のため、授業場所の変更により、議事の順番を変更する。



6 議事（司会：山元様）

協議1：「地域とのつながり」～分校をさらに良くするために～

遠藤) 安心、安全は大切である。しかし、誰もがいつでも立ち寄れる学校はいいが、やたら立ち寄ってもらってよいものか、それは心配でもある。

山元) 開かれた学校と危機管理と両方求められる。

関澤) 開かれた会社は、ない。「開かれた」の捉えを確認するとよい。いかに学校であることを情報発信することが大切である。例えば、HPは、フェイスブックなどとリンクでつなぎ毎日、ちょっとずつ更新すると、HPが生きてくる。また、地元の回覧板、岳南朝日など記事にしてもらうのもよい。



定期的の記事がのると、周りの人が記事など富士宮分校の情報を探すようになってくる。

三澤) 協議委員は、どんどんぜひ学校にきてほしい。HPは、写真などたくさんUPしてくれている。ただ、そんなに開くことはないようにも感じる。だからフェイスブック等とリンクがつながるのは、いいと思う。美術作品の展示もたくさんあり、もっとみんなに知ってもらいたい。また、授業ジャックで、企業のパンフレットをもらってきた。保護者も、そのような情報をほしい。

杉浦) 美術展示は、よく見る。富士の信用金庫には展示されているのに、富士宮の信用金庫には、展示がない。展示してほしいね。

関澤) 宮信にも発信している。クオッカのメンバーもいるので、美術のことはよく知っている。マルモの壁にも絵が展示されましたね。

ぜひ、「開かれた」という意味での、情報発信ということの価値を見直すといい。

蓑) 門1つでの受け入れでセキュリティー体制をとっている。HP、フェイスブックでは、いいですね。「開かれた」というところでは、関係者に用事があるよう仕向けることが大切。授業ジャックでは、お互いが知る環境を作っていきたいと思っている。地域が知る環境にもなるとよい。知らないから、選択肢が狭まってしまうことがある。他の企業もお互いに知る環境になるとよい。保護者も見たい、知りたいと思っていると思うので、生徒から「こんなこと聞いた」と家庭で話ができると広がっていくと思う。まず、興味を持つことが大切。授業の中に本物の社会が入ることはよい。

山元) 意味のある開放、戦略必要。学校、地域をどう共有するか、社会参加の仕方など探っていくとよい。

杉浦) 他校でも札をもらわないと学校には入れない。毎年のように、呼んでもらえるとお互いに知っていける。大宮小で保護者が役員をやりたいくないからという理由で、子供会に入っていないメンバーが多い。50人中20人は入っていない。保護者教育も必要。富士宮分校は挨拶がとてもよい。もっと地域の若い人たちと関わらせたい。

選挙が以前あったが、スムーズにできていなかった。係も選挙ということで、むやみにかかわれなくて、ちょっと困っていた。ぜひ、システムも教えてあげてほしい。

三澤) よく、一般常識が足りない、新聞を読まないといわれるが、中学校時代、教科書を取り

上げられ、ただただ、作業(?)をやっていた。もちろん親が教えるところもあるが、学校でも基本的な常識を教えてほしい。

学校) 主体的に社会参加するために、選挙も取り上げ、模擬体験をしているし、講座も受けている。しかし、学校でやっても社会の中で活用できるように、つなげていくことも意識していきたい。また、守りすぎると育たないこと、社会に出てから困ることもある、それを見据えながら、教育している。

養) 卒業生のことでも学校は、相談できることが分かった。それは、企業側にとってありがたいこと。それこそ、「開かれた学校」といえると思う。企業側は、社会人としての対応も大切。今回、最初に甘やかしすぎてしまった。雨が降ったら、迎えに行くというようにしてしまったことで、霧が出て迎えに来てほしいとなってしまった。いかに最初に環境を整えるかが大切で、勉強した1年になった。社会に育ててもらふことや社会で育てることも大切である。

遠藤) 特別支援学校の教育を発信していくことが大切である。分校でどんな学びをしているのか発信してほしい。自分で納得して選んで、受検できるとよい。先輩が出向いて交流することが理想だが。

三澤) 富士根南中学校では、卒業生が行って、話をしていることを実際にやっている。

山元) 持続できる体制を整えていけるとよい。

協議②:「私たちのBookコネクトプロジェクトWBC」～学校図書館活性化事業～

杉浦) 小学校等で、自分の良かった本を紹介して販売することを行った。寄付をしたが、やはり長続きしなかった。

遠藤) 本を読める時間の確保、学びの機会が大切である。好きな本を読む機会はいい。

関澤) なかなかイメージが持ちづらい。きっと興味のもてない生徒もいる。その生徒のことを意識した取り組みになるとよい。例えば、西町の古本屋で、販売するブースを毎月8日に行っている。分校のブースを作ってもらふのもよい。最後の落としどころは特になくていいが(ないことは社会で多いから)、方向性だけは整理しておいた方がよい。

三澤) 読み聞かせグループが富士宮もあり、毎月小学校に行っている。そこで、1か月間、その本を置いてくる取組をしている。本棚の製品も素敵なので、小学校に使い方の紹介をして、本棚を使ってもらふこともよい。製品にもなるかも。

～その後、話がはずむ～アイデアのみ記載～

- ・やはりアップデートが必要。コミュニケーションツールの一つになるとよい。
- ・市役所にリサイクルボックスがある。そんなのともつながれるとよい。
- ・図書館に置かせてもらって図書館ジャックしてもよいのでは。
- ・支援学級と本棚を交換して、お互いにどんな本を読んでいるのか交流してもよい。
- ・東分校ともできる
- ・QRを作って、情報発信したらどうか。PC部に作ってもらって15分間だけ、つながるシステムとか。

山元) どちらにせよ、各本棚にテーマがあるとよい。

授業参加

- ・ 1年家庭科 2年美術 3年ヨガ（人材活用：外部講師）
- ・ 掲示
- ・ 作業製品（スキルアップ会展示品）…コメントも書いてもらう

<委員の皆様からの感想>

遠藤) きれいな学校。今までもきれいだったが、見せ方がよい。そういう意味でもきれいな学校だと思う。

だからこそ、コネクトボックスの中には、ときめく本とときめかない本があることがわかる。あせていると、やはりときめかない。それだけで、手にとらなくなる。

関澤) どの生徒もいきいきと授業を受けている。本当に手帳をもっているのかと思うくらいだ。生徒たちの中で、しっかりとコミュニティが築かれている。やりとりもでき、教え合ったりもしている。もともともっていた資質なのか、先生たちの指導で積み上げてきた資質なのか。

山元) 子供たちの適性に合わせたやり方ということ

襄) 元気で、挨拶ができる生徒たち。一般の子たちにこれだけは負けないことあるとよい。それがほかの人の手本となる。

掲示物もうまく使っている。今の時事、例えばG7にも触れていて、社会と接する機会にしていることはよい。

杉浦) 家庭科でご飯を炊くことがあったが、防災関係にもつながる。基本的にみんな明るくてよい。大勢の中でもこの子にはどうやって接すればよいのかがわかっておくことが大切。

三澤) みなさんと話ができて、いいお話、つながりができて、自分のモチベーションもあがった。企業さんからも、離職させない努力を企業はしないといけないと言っただけ、うれしかった。

山元) 分校生は、のびのびしていてポジティブな動きが多い。自然な文脈の中で授業をやっている。生活へとつなげていけるとよい。

関澤) キャリアパスポートの活用を是非してほしい。この子には、どんな風に声を掛ければよいのか、どんなサポートが必要なのか、あらかじめ知っておけるとありがたい。実は、いま雇用している従業員は、よく働かし、手本となってくれている。あるとき、不良品を見つけたことを何気なく、誉めたことがあった。すると、それ以降もたくさん不良品を見つけるようになった。おかしいと思って様子を見てみると、自分で不良品を作るようになっていた。誉め方も難しい。

そんなことも含めて、キャリアパスポートの活用、考えてほしい。

12:00 終了